

(仮称) 白島沖着床式洋上風力発電事業計画段階環境配慮書に対する市長意見

1 事業計画の具体化に当たり配慮すべき事項

風力発電設備の仕様及び配置の具体化に当たっては、藻場や鳥類等の調査結果を踏まえた上で、環境影響を可能な限り低減させるよう努めること。

2 方法書以降の環境影響評価手続に向けた留意事項

(1) 藻場について

藻場の分布状況についての既存資料は調査時期が古いものであるため、現地調査を実施して最新の分布状況を把握し、予測評価を行うこと。

(2) 鳥類について

本事業の事業実施想定区域はオオミズナギドリの繁殖地である白島に近接しており、飛翔ルートにもなっていることから、鳥類について現地調査を実施し、適切に予測評価を行うこと。

(3) コウモリについて

白島にはコウモリが生息している可能性があるため、専門家からの意見聴取等により情報を収集し、必要に応じ調査を実施すること。